



筑波山麓地域情報誌



すそみろく

VOL.30 2014 春夏号

お山を見ながら 田んぼ体験

自転車でいける おいしい体験

山麓の空気に引き込まれて 農と暮らし体験



この風景が
だいすきなんだ



今日もお山は
きれいだね



おいしいものを
みつけにいこう!



「すそみろく」は筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会の機関誌です。地域の魅力を皆さんにお伝えするものです。すそみとは、筑波山のふもと一帯のことです。「筑波山麓のココが好き!」など皆さんの情報もお待ちします。また、一緒に活動するサポーターも募集しています!

f ページも
チェックしてね。



HPはコチラ <http://tsukuba-gt.sakura.ne.jp/>

つくば環境フォーラムの

「すそみの田んぼ」は

楽しい!



かんこおり
神郡にある「すそみの田んぼ」

つくば環境フォーラムの生きものと共生する「すそみの田んぼ」には、都会にはない自然の豊かさがあり、つくば市民のみならず近隣市や東京都からも多くの方が参加する。大人も子どもも横並びになって一斉に田植えをする様は壮観だ。この田んぼは、筑波山の湧き水が染み出る谷を利用した谷津田で、里山の生き物の生息場所となってきた。ここにいる生きものの総数は、なんと200種以上。田植え体験で行われる「生きもの観察会」は、大人にも子どもにも大人気だ。雄大な自然豊かな「すそみの田んぼ」は、農体験をしながら水辺の生き物を観察できる子どもたちの楽園だ。親子で参加できる体験つきオーナーになって、農体験と豊かな自然を満喫してはどうだろうか。米づくりと一緒にする田んぼボランティアも募集中だ。

筑波山麓 生きものと共存する

「すそみの田んぼ」 オーナー募集中

くわしくはHPをご覧ください



参加者の声



● 田んぼボランティア 山田美幸さん
子どもの五感を育むために…と、お友達に誘われたのを機会に行くようになったすそみの田んぼ。そのとき子どもは3歳。今は8歳になり習い事が忙しく、連れて行く機会が少なくなりましたが、今では私1人で田んぼの平日作業に出向いています。子どもが居ないのになぜ？きつとそれは「気持ちが良いから」。近くに筑波山を望むのどかで美しい緑に囲まれた環境。鳥のさえずりを応援に仲間とする作業。多くの生きものに出会える場。すそみの田んぼは子どもはもちろんの事ですが、大人の五感も刺激する素敵な環境です。

イベント案内

- ・田植え 5/24 (土)
- ・稲刈り 9/20 (土)
- ・収穫祭 10/18 (土)

問い合わせ／申し込み先
NPO 法人
つくば環境フォーラム
Tel/Fax 029-863-5151
E-mail tef298@lime.ocn.ne.jp
HP <http://tef298.sakura.ne.jp/>

自然生流

米づくり & アート



自然生クラブは、知的ハンディキャップのある人たちと農業や芸術活動を行っている。自然生クラブの農体験の田んぼが、「山の神の谷津田」だ。名前の通り田んぼの近くに「山の神」をまつた堰があり、ここで農とアートの集い、「田楽の集い」が開かれる。自然生クラブでは、無農薬での栽培を基本とするために、雑草対策に紙マルチを敷く農法だ。田楽の集いでは、参加者が紙マルチの上に、穴を開けながら丁寧に手で植えていく。腰が痛くなったら、時折、腰を伸ばして眺める筑波山。お腹がすいたら、自然生クラブの野菜たつぷりのお昼が待っている。そして、昼食後は田の神に感謝する「田楽舞い」。田には太鼓が鳴り響き、踊り手が舞う。素朴で力強い田楽も楽しむことができ、農作業の喜びもひとしおだ。

参加者の声

● 「田植えの本質ここにあり！」

星野慧さん（つくばNICE）

薫風と踏み入れる冷たい水にワクワクします。参加者は学生や社会人など様々です。背景の異なる人たちが共に苗を植え、自然と笑顔になり交流が生まれます。山麓の美しさは勿論、この出会いにも魅力があります。昼食は青空の下、美味しいお米と色とりどりの初夏の野菜をいただきます。そして、和太鼓で踊る「田楽舞」で会場の雰囲気はクライマックスに。豊穣を祈る舞に、自然に生きる力強さを感じます。



自然の恵みに感謝する「田楽の集い」

イベント案内

・田楽の集い

田植え 5/18(日)・稲刈り 9/21(日)10時に細草川の谷津田に集合。
参加費は大人900円、学生・障がい者500円(昼食込)

・5/3(土)～5/6(火)春の芸術祭 開催!

田井ミュージアム(つくば市神郡54)
カフェ、草木染展、絵画展、チェロコンサート、ヨガやダンスのワークショップ、研究会(地域と教育、脱原発とエネルギー)、農産物販売



こだわりの農法



問い合わせ/申し込み先

NPO 法人自然生クラブ TEL/FAX 029-866-2192

jinenjo@dance.ocn.ne.jp

http://www17.ocn.ne.jp/~jinenjo

https://www.facebook.com/jinenjoclub

自転車で行ける

おいしい体験

白井・つくば味工房と
北条・ピットストップのおいしい関係



石窯で美味しいピザが出来上がり

松本さん夫妻

つくば味工房で出来上がったおいしいもの



見上げるとぬけるような青い空、目の前にどーんとそびえる筑波山、周りの里山が新緑で輝く春は一年で一番美しい。

ここは筑波山麓の白井地区、昔から温暖な気候と豊かな山の水に恵まれて、米作りや野菜の栽培に適している。

「つくば味工房」を訪ねる

松本清司さん（62）松本てつ子さん（63）夫妻の広い畑では、5000本のにんにくが勢いよく成長し、150本のブラックベリーが柵をのりこえて芽を伸ばしている。松本さん夫妻は無農薬で野菜や果物を育て、摘み取ったあと無添加・無着色で加工商品化している。新鮮さが味を左右するので、変色しないように丁寧に取り扱い、管理している。また手作りの石窯でピザ作りの体験も行う。松本さん夫妻は7年前、生活の拠点を真壁からつくば市白井に移した。「何か農にかかわる事をしたい」と二人で、2012年4月に、「つくば味工房」を立ち上げた。

「つくば味工房」で初めて農業を経験した松本さんは「農業はやればやるほどおもしろくて、奥が深い」と目を輝かせる。そして何よりも、筑波山に登る人達が立ち寄って、無農

薬の野菜を収穫したり、柿狩りをして喜ぶ姿を見るのが嬉しいという。

松本さん夫妻の「つくば味工房」は、月に2回開かれていた。ジャズやクラシックの音楽を聴きながらコーヒーやお茶が飲み、ゆつくりとくつろげる。ベリー類のジャム、あげ餅や季節のご飯など、加工食品も多数販売されている。どれも、てつさんの甘くて優しい味が染み渡っていておいしい。またご主人の清司さんが丹精を込めて作った自慢のピザ窯で、各自が畑で採れた野菜をのせて焼く、オリジナルのピザは、みなさん「最高です！」と評判がよい。



松本さん作のピザ窯！ピザづくり体験ができます

筑波山麓 おいしい! に会える場所



ピットストップつくば北条

つくば市北条 5287-8

090-7407-9284

毎週土・日・祭日 8:00~17:00 営業

2011年設立。2012年、NPO法人「りんりんプロジェクト」を立ち上げる。トイレの利用や空気入れなどの工具が借りられる。天候が急変の時は雨宿りができる。駐輪ラックが設置されている。このような「自転車サポートステーション」を茨城県に70以上設置した。自転車の貸し出し（有料）も出来る。



つくば味工房

つくば市白井 35

029-866-0837 / 090-6316-8491

毎月第2、4日曜日 10:00~16:00 営業

黒にんにく、らっかせいのお赤飯、ブラックベリージャム、甘酒シャーベットなど、無農薬無添加にこだわった美味しいものがたくさん！畑で穫れた新鮮野菜を使った「ピザづくり体験」もできる。

初夏のおすすめ イベント

畑でイタリアン!

夏野菜の収穫とランチ

ジャガイモ、トマト、バジル、ナスなど夏野菜収穫の最盛期を迎える7月の筑波山麓。夏野菜の収穫とショートパスタの一種のトルフィエづくりに挑戦。

La Stalla でおいしいランチをご一緒に!

日時 7月16日(水) 10:00~14:00

参加費 4000円

講師 櫻井登(農家・協議会会長)

佐藤誠之(La Stalla シェフ)

定員 10名

募集締切 7月11日(金) 17:00まで

申込先 筑波山麓グリーン・ツーリズム

推進協議会 029-867-1083

新鮮な色とりどりの野菜、手の込んだ切干大根や豆類などの加工品など、松本さん夫妻の田畑で出来た収穫物を楽しみに待っているのは、つくば市北条の有野由美子さん。
「ピットストップつくば北条」
ある時、有野さんが自転車で行りんロードを走っていると、「りんりんロードから眺める筑波山がドーンと心に飛び込んで来て、忘れられなくなつた。」「よし、ここで人が喜ぶことをしよう」と決断した。つくば市北条三差路の近くに、自転車の休憩所をオープンした。2011年4月、東日本大震災の翌月である。
有野さんのピットストップでは、自転車仲間たちに、地元の食材を使った「つくば三昧」というおばんざい



ピットストップでいただける「つくば三昧」



ピットストップの前で有野さん

を作っている。特に筑波山が見える地域のおいしいもの、安全なものとして、「つくば味工房」の松本さん夫妻の愛情のこもった食材は欠かせない。手作りのおいしいものを通じた松本さん夫妻と有野さんの交流はこれだけではない。筑波山麓秋祭りや「つくば味工房」のイベントには、有野さんが自転車仲間たちと参加して、地域の人もふれあう機会をつくっている。
おいしい! わらわらまつり
昨秋、筑波山麓の六所にある茅葺小屋で、「わらわらまつり」が行われた。わらわらを使って昔の暮らしを学ぼうという催し。収穫したばかりの新米をかまどで炊いて、白いご飯に卵をかけたり、おにぎりにもしたり。有



昭和初期まで使われていたかまど

野さんの自転車仲間も20人ほど参加した。「やっぱり筑波のお米はおいしい!」と、感動。
今年、燻製の窯を作ってソーセージを焼きたいと、松本さん夫妻。自転車が安心して走れるような町づくりをと、有野さん。筑波山麓の美しい風景や山の幸を探しに、たくさんの人に立ち寄ってもらいたい。
(上野節子)

山麓の空気に引き込まれて

農と暮らし体験

わたらの「農と衣のワークショップ」
わたらの会「しめ縄づくり」



お正月を前にご自慢のしめ縄を持って



小島さん (左) と赤松さん

家族で挑戦

苗から始まったしめ縄作りも見事に結実

薪でご飯を炊いて、着物を自分で縫ったり、繕ったりする「手間のかかる暮らし」。それは日本全国津々浦々、田舎はもちろん、都会の暮らしでもつい最近、たとえば半世紀前までは普通に見られた風景だ。

山麓での暮らし再現の試み

昨年、筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会の「わたらの会」「わた部」が取り組んだのは、半世紀前まで当たり前だった「手間のかかる暮らし」を体験してもらい、豊かさについて再考してもらおうという試み。それぞれの部活動はおおよそ次の通り。

【わたらの会】

・5月から8月までしめ縄用の稲を栽培。

・10月28日(日)の「わらわらまつり」でわたらの民俗学を学び、わらでわらじや秘密基地づくり体験。

・12月8日(日)の「しめ縄をつくらう」で農産物の収穫としめ縄づくり体験。

【わた部】

・5月から12月までの6回で綿の栽培を行い、その綿を使ったちゃんちゃんこ作りを和布工房はんでん屋の指導で実施。

お知らせ 今年のわたらの会

◎しめ縄田んぼの田植え体験！

来る年明けに向けてしめ縄田んぼ始動！小さな田んぼで田植え体験。

日時 5/18 (日) 10:00~12:00

場所 つくば市白井 茅葺き小屋 定員 15名

募集締切 5/15 (木) 17:00まで 参加費 1000円

◎わら草履づくりに挑戦！

今年の夏はわら草履ですごそう！地元の草履づくりの名人が作り方を直伝。昼食は流しそうめんとシソジュース！

日時 7/12 (土) 9:30~14:00

場所 つくば市白井 茅葺き小屋 定員 15名

募集締切 7/9 (水) 17:00まで 参加費 3500円

◎わたの刈り取りワークショップ 日時 8/10 前後

◎しめ縄づくりワークショップ 日時 12/13 (土)

※詳細は決まり次第 HP、FB ページで発表します



地元の方と接するのがうれしい

2つの部活は昨年移築された茅葺

き小屋を拠点に行なわれた。

これらの活動に参加したお二人、赤松恵さん(つくば市上原)と小島いみ子さん(取手市白山)に体験について感想をうかがった。

「20年近くつくばに住んでいながら、こんなすてきな場所があるとは知らなかった」という赤松さん。

ちょうど日本の歴史に興味を持ち始め、筑波山について独自に調べて



針を進める目は真剣そのもの



わらの秘密基地完成だあ〜！



昔ながらの綿くり器も活躍



綿の種まき、鋤を使うのも始めてだった

いた小島さん。タイミング良く赤松さんから声をかけられ参加を決めた。六所や飯名神社などの由緒を後で知ったが、「何かに導かれるようでしたね」と振り返る。

鋤を持つのも初めての二人。綿の種まきで、リズム良く鋤を使って畝を立てていく地元の方に「すごい」と目を見張った。じっと座って針仕事など考えられなかったという赤松さんは、終わってみれば綿入れはんとも含め計4着を仕上げた。

「最初は形が見えてこない和裁ですが、形が見えた時の感動がなんとも言えない快感でしたね」と赤松さん。

「彼女が持ってきたのは学校で子供が使っていた裁縫箱。それがここまではまるとは」と小島さんも、赤松さんの「はまりぶり」に驚く。

何から何まで初体験の二人。わらまつりで、わらじを作ったのも初めてだったが、地元の方の説明を、スタッフが解説してくれたので、迷うことなく作れたという。

煙が立ち上り、子供の歓声が響く。茅葺き小屋は、10月のわらまつりで、念願のかまどが完成。割烹着姿もまぶしい女性たちがかまどでご飯を炊くと、煙が土間に立ち上った。(5ページ参照) 外では、秘密基地を作る子どもたちの歓声。半世紀

おしらせ 今年のわた部

2014 年部員募集！
和綿の栽培を通じた「農と衣のワークショップ」

昨年に続き山麓の小さな畑で、種まきから収穫までの綿作りと、茅葺き小屋での針仕事をを行います。

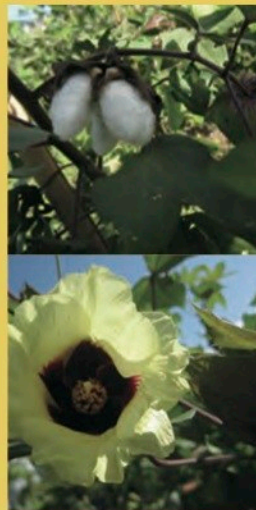
針仕事は、今年はもんぺと腰布団

・活動日=5/25(日)、6/29(日)、7/27(日)、9/28(日)、10/26(日)、11/30(日)

10:00 ~ 15:00 / 午前中は畑仕事体験、午後は針仕事 (指導は和布工房はんでん屋)、お弁当持参

・参加費=15,000円 (指導料・綿代込み、材料費別)

・問い合わせ=筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会
029-867-1083



前の暮らしがよみがえった瞬間だ。貴重な暮らし体験は、筑波山を目前に眺められる山麓のこの場所だからこそ。地元の方と接し、お話を聞いたり、なごむことができる時間は何物にも代え難いと二人は口を揃える。そのために、一過性のブームで終わらせるのではなく、ひとを介して少しずつ広げていって欲しいと。(野末たく二)

◆田井小学校入学式

4月、つくば市で最も児童数の少ない田井小学校では、筑波山麓に暮らす11名のかわいい新入生を迎えました。田井尋常小学校の創立から今年で125年。三年後には近隣の小・中学校との施設一体型小中一貫校への統廃合が決まっています。満開の桜に彩られた校舎の背後には大きな筑波山が。家庭で、通学路で、学校で、つねにこの山に見守られて育つ子供たち。この景色を原風景として健やかに小学校生活を送ってもらいたいと思います。
(横井久美)



ピカピカの1年生!

◆10年ぶりの里帰り

六所皇大神宮の廃社から百年目にあたる今年4月13日、六所神御衣祭が行われました。これは、御神体である天照大神の衣替えという神事で

す。

当日は朝から大勢の人々が境内に集まり、雅楽がながれるなか、現在の宗教法人に引き継がれて百年目の記念の儀式が始まりました。4名の代表者に護られて、白い布に囲まれた「神御衣」の隊列が進んでいきます。そして、神官とそれを補佐する5名の方々により、冬の袷から春の単衣へと着せ替えられました。
古くから由緒ある神御衣祭の式が、桜舞い散る六所の地に厳かによみがえりました。
(小沢陽子)



春の単衣の神御衣が運ばれます



桜散るなか厳かに営まれた式典

山麓インフォメーション

●夏祭り

神郡祇園祭り7月中旬／山車、神輿がにぎやかに町内を練り歩きます。白井八坂神社の御神火7月19日(土)／20時頃から境内の御神火場所まで火がつけられます。

杉の木桶荷万灯 8月中旬／手描きの万灯が神社までの参道を飾ります。

●平沢万灯8月23日(土)／18時～21時／問合せ平沢官衙遺跡案内所 029-867-5041

●神郡塾講座(毎月第2日曜日)

5月11日①飯田猷子氏 ②宗像精氏
6月8日①近藤久雄氏 ②遠藤道夫氏
7月13日①塚越喜一郎氏 ②平岩正樹氏

8月17日①横井俊明氏 ②嶋田麻紀氏
9月14日①高野英一氏 ②初見大清氏
①は9時～10時30分 ②は10時40分～12時10分



4月の六所、茅葺き小屋

◆ご挨拶

「すそみろく」が創刊されて8年、30号を数えることになりました。現在、筑波山麓にあるこの田井という地域に多くの逸材が集まり、地域の人々とともに「筑波山麓グリーン・ツーリズム協議会」が活発な活動を続けています。この活動を紹介するのも「すそみろく」の役割の一つです。当初、モノクロ4ページ年4回の発行でしたが、今回リニューアルして、カラー8ページとなりました。カラーで地域のことを、より鮮明に伝えることが出来たと思います。こんな素晴らしい地域がつくばの中にあるんだ!と思ったあなた。われわれと一緒に活動しましょう。



筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会会長 櫻井登

すそみろくサポーター

つくば市筑波 筑波山神社

農業生産法人 小久保貴史
筑波農場

つくば市小田 武平ファーム

つくば市小沢 杉田慶也

※協賛会員「すそみろくサポーター」募集中!
一口3000円から 詳しくはお問合せ下さい